

平成20年5月2日

報道関係各位

有限責任中間法人ロハスクラブ

プレスリリース



世界で750万人が参加するイベントが新宿御苑に。

**隣人祭り、日本初上陸！ 開催決定！**

第3回ロハスデザイン大賞2008新宿御苑展  
同時開催「隣人祭り」取材のお願い

いまから18年前、パリの青年3人が、あるパーティをはじめました。  
きっかけは、同じマンションに住むひとり暮らしの弧度なお年寄りの死。

「住民同士のふれあいがあれば、こんな悲劇は  
起こらなかったはず……」

地域の隣人たちがそれぞれに集い、食事を共にしながら語り合う。  
それが、「隣人祭り」。

年に一度、同日同時刻に世界中の28カ国で一斉に開催され  
750万人が参加するイベントが、  
ついに日本初上陸です！

■開催概要：

催事名称：第3回ロハスデザイン大賞2008新宿御苑展「隣人祭り」

主催：有限責任中間法人ロハスクラブ

共催：チーム・マイナス6%（環境省）

開催場所：東京／国民公園 新宿御苑

開催期間：平成20年5月17日（土）、18日（日）2日間

時間：朝9：00～16：30（入場は16：00 まで）

入場料金：新宿御苑入場料として 大人1名200円／小中学生50円／未就学児童無料

特別協賛：東京電力、トヨタ自動車、積水ハウス、ベストアメニティ

特別協力：日本郵便

後援：月刊ソトコト、日本経済新聞社、J-WAVE、BS朝日、新宿区

## ■「第3回ロハスデザイン大賞2008」とは



[2007年度ロハスデザイン大賞の様子]

ロハスクラブとチーム・マイナス 6% (環境省)との共催により、新宿御苑で「ロハス(人と地球を長持ちさせるライフスタイル)」を体現するエキシビション方式のイベントです。ロハスクラブでは、第3回目となる本年度のロハスデザイン大賞のテーマを「リニューアブル・デザイン」とし、「ヒト」「モノ」「コト」の3つカテゴリーについてのエントリー候補の一般公募を行いました。「リニューアブル・デザイン」とは、私たちと地球の生活スタイルを新しく、楽しいものに変えてくれるデザインのことです。

持続可能で、健やかなライフスタイルを実現してくれる「ヒト」「モノ」「コト」の公募の結果を展示いたします。

最終エントリー候補は、一般会員(個人インターネット審査会員)の予備投票、また、ロハスクラブ評議会による予備審査を経て選定を行い、本展において展示を行います。

※最終審査候補はロハスクラブのホームページをご覧ください。<http://www.lohasclub.jp/>

最終審査投票は、一般会員によるインターネット投票(<http://www.lohasclub.jp/>)、また、新宿御苑展における来場者投票(一般来場者)の合計により、本年6月5日・環境の日に発表いたします(東京・丸ビルホールにて発表シンポジウムを開催いたします)。

## ■「隣人祭り」とは：

### 隣人として、地球温暖化や環境問題についての意識を共有しましょう！



[海外での隣人祭りの様子]

「隣人祭り」とは、ヨーロッパをはじめ世界の国々で毎年5月の最終火曜日に開催しているイベントです。

同じ建物や近所に住んでいる住民同士が全員食べ物を持ち寄って一日だけのパーティをするというものです。隣近所の人のことを知らない、顔見知りという感覚が失われがちな都会において、人間同士の触れ合い、対話を再発見することで、人間関係を見つめ直そうという思想から始まったとされています。日本においては、いわば、長屋の文化にも通じるもの。

人と人が集い、美味しい料理を食べ、語らい、思いを共有する。今年のロハスデザイン大賞2008新宿御苑展では、そんな楽しいライフスタイルを「隣人祭りのテーブル」から提案します。垣根を越えて、集い、語らい、共有する。例えば、世界各国が地球温暖化についての意識を共有し、解決しようとする点において「京都議定書」は、「地球規模での隣人意識」でしょう。「隣人祭りのテーブル」とは、様々な環境問題を解決するための視点となる「隣人意識」というメッセージを発信するものです。

## ■「隣人祭り」参加者：

新宿御苑近隣や新宿区のマンションなど集合住宅にお住まいの方、新宿で活動するNPO、新宿東口商店街復興組合、老年学研究所などの団体が参加されます。

(引き続き参加者を募集中です！)

## ■ 「隣人祭り」 発起人のアタナーズ・ペリファンさんからのメッセージ

### Editorial pour la fête des Voisins au Japon

Chers Amis du Soleil Levant,

J'ai créé la Fête des Voisins pour lutter contre la solitude et l'isolement, le repli sur soi et l'indifférence. Drôle de société où l'on communique plus facilement par le net avec des inconnus à l'autre bout du monde plutôt que de dire bonjour à son voisin.


Aujourd'hui, plus de 7 millions d'Européens y participent dans 720 villes européennes (Rome, Paris, Bruxelles, Londres, Lisbonne, Genève,...). Partout, le même enthousiasme et la bonne humeur, l'envie de partager, de faire plaisir, de se rencontrer tout simplement.

Je suis très heureux que le Japon soit le premier pays d'Asie à rejoindre la « Fête des Voisins ». Je suis convaincu que ce sera bientôt un grand succès au Japon et que votre pays servira alors d'exemple pour tous les pays d'Asie.

Au-delà de la Fête, notre objectif est de renforcer les solidarités de proximité et de voisinage en complément des solidarités familiales et institutionnelles.

Construire une ville plus humaine et plus conviviale, plus fraternelle et plus solidaire, voilà l'enjeu du XXIème siècle.

Je compte sur vous, amis du Japon, et vous en remercie par avance.



### 親愛なる"日出国"(日イヅル国)の仲間たちへ

僕が「お隣さんまつり」を立ち上げたのは、孤独や引きこもり、無感心といったものに抵抗するためでした。地球の向こう側にいる見ず知らずの人たちとはネットで繋がろうとするのに、近くにいるお隣さんにはこんにちはと声もかけようとしない。何ともおかしな世の中に僕たちは住んでいます。

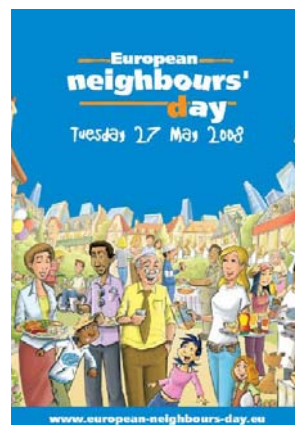
今日、700万人以上のヨーロッパ人たちが720の都市に集まっています。ローマやパリ、ブリュッセル、ロンドン、リスボン、ジュネーヴ... みんなが出会えば、それだけでどこでも変わらぬ熱狂、陽気さに分かち合い、心ゆくまで楽しんでいます。そう、人と人が出会えることだけでもこれだけハッピーになれるのです。

日本の皆さんも僕たちと一緒に「お隣さんまつり」の仲間に加わってくれてありがとう。これ以上嬉しいことはありません。きっと日本中にその輪が広がっていくと信じています。そしてやがてはアジアの国々を結ぶきっかけになってくれる事を期待しています。

このおまつりを通して、ご近所どうしのお付き合いが深くなり家族の在り方や慣習などを考え直すきっかけになれば嬉しいです。そしてヒューマンな街づくり、みんなが分かち合い精神でつながっている自信に満ち溢れた社会、それが21世紀のテーマです。

日本のみなさん、あなたたちに期待していますよ。そして心からありがとう。

アタナーズ・ペリファン  
ヨーロッパご近所連帯協会プレジデント  
「お隣さんまつり・建物まつり」発起人



[フランスでの本年度開催「隣人祭り」ポスター]